

主な内容

会長就任挨拶
平成30年度活動方針
各部・委員会活動計画



会報

全国国公立幼稚園・こども園長会

国公幼としての

使命を果たすとき

全国国公立幼稚園・こども園長会

会長 新山 裕之



度重なる災害へのお見舞い

六月には大阪北部での地震、七月には西日本豪雨により、多くの地域で甚大な被害がありました。犠牲になられた方々、ご遺族の皆様は謹んで哀悼の意を表しますとともに、被害を受けられた方々が、一日も早く平穏な生活に戻れますことをお祈り申し上げます。

国公幼としても、情報収集に努め、各地の被害状況などを確認し、全幼Pとの連携も含めて、様々な状況を総合的に判断して、支援策を決めたいと考えています。子どもたちの笑顔のために、保育を愛する仲間のために、少しでも被災された皆さんのお力になれるようにしたいと思っています。猛暑はまだまだ収まりそうもありません。くれぐれもご自愛いただきますよう、お祈り申し上げます。

国公幼の歴史と組織をつなぐ

さて、私は、六月八日・九日の全国国公立幼稚園・こども園長会総会研究大会（島根大会）において、関美津子会長からバトンを受け継ぎ、会長に就任いたしました。

私自身は、人としての根っこを育てる保育という仕事に大きな憧れを抱いて、この道を目指しました。皆さんも、私と同じような思いで子どもたちや先輩方と共に汗を流しながら、保育の素晴らしさや仲間の大切さを実感してきたことでしょう。

幼児教育の重要性が社会に認知されつつある今こそ、国公幼が質の高い幼児教育を実践、発信していくときです。本部の役員共々、全国各地の会員の皆様の思いを受け止めながら、全力で務めてまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

地域差と共通の課題

昨年末、総会の準備や関係機関へのご挨拶に伺った際にも、島根県の園長先生方の献身的な努力には頭が下がる思いでした。このことは、今まで参加してきたどの大会においても、役員の方々とお話しする中で感じてきたことです。そしてその都度、各地の保育を取り巻く状況がその地域の歴史や文化、経済や産業などと深く結び付いており、地域差があり、ひと筋縄ではないかないことを実感してきました。

一方で、保育者の熱い思いとは裏腹に、保育者として、結婚や妊娠・出産・子育てを経ても職場復帰をして働き続けることができる職場環境や処遇等については、どの地域にも共通する課題であることも分かりました。

先達の思いを受け継ぐ

島根での総会が成功裏に終わり、東京に戻ってきた矢先、本会の元会長である磯部頼子先生の訃報が届きました。磯部先生は、全国大会には必ずお越しください、島根大会でも激励の言葉をいただいたばかりでした。磯部先生が保育に対して抱いていた思いを、国公幼としてしっかりと受け継いでいくことを遺影に向かって誓ってきました。

国公幼としての使命

国公幼は、全国・各都道府県、各ブロック等の組織力を生かした実践的な研究と研修体制が整っています。長年、多くの先生方が、子どもたちの健やかな育ちを願い、保育者の資質向上を図り、幼児教育の質の維持向上に尽力してきました。幼小兼任園長や校長経験のある園長も多く、幼小連携を推進し、地域社会の核としての役割を果たしていることも、国公幼の誇るべき実績です。

新幼稚園教育要領等が全面実施になり、来年度途中からは幼児教育の無償化も予定されています。幼児教育の重要性が社会に認知され、実践における質が問われています。幼児教育にとつて、追い風や向かい風、突風などいろいろな風が吹いています。だからこそ、それをうまく受け止め、前に進みたいと思います。今こそ、私たち国公幼が、幼児教育の質の向上のために、自信をもって使命を果たしていくときです。